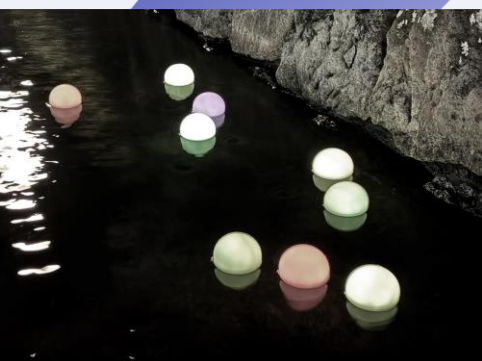
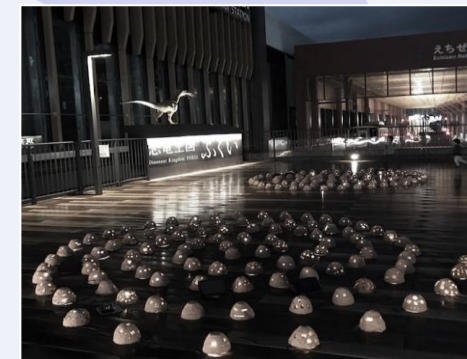




君のアイデアが
ふくいを変える

令和 5 年度

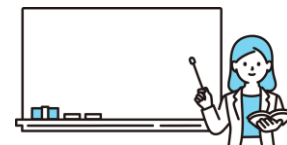
チャレンジみらい予算

実施レポート



令和 6 年 2 月
職員課・総合政策課・財政課

「チャレンジみらい予算 実施レポート」 とは



▲募集チラシ

- 福井市では、若手職員がチャレンジできる場を創出するため、職員自らが施策を提案し、実現する「チャレンジみらい予算」を実施しています。
- このたび、若手職員のチャレンジを市民の皆様にお伝えするため、令和5年度の事業をまとめたレポートを作成しました。
- 今後も若手職員のチャレンジを応援することで、やり抜く力を持った職員の育成と、市民がワクワクする魅力的な事業を実施します。

【チャレンジ事業データ】

事業数



17事業

事業予算額



34,866千円

チャレンジ職員数



39人

令和5年度 実施事業一覧

■個人提案：13事業（33,316千円）

事業名	所属	ページ
＼ポップ／に発信 Oh！役所系YouTuber	広報課	3
パパ育休100%チャレンジ事業	女性活躍促進課	4
「ありがとう！」で雑がみ分別促進事業	環境政策課	5
あなたの「困った！！」によりそうWeb広告事業	福祉政策課	6
トキメクふくい！ガイドブック制作事業	おもてなし観光推進課	7
文化財の魅力を発見＆きっかけはアートから	文化振興課	8
「みんなでつながろう」博物館DX推進事業	自然史博物館	9
左内先生のレガシー継承プロジェクト	郷土歴史博物館	10
福いいネ！知識の源「読書筆記」の巻！	図書館	11
上下水道すごろく	上下水道サービス課	12
持って出て効率化！情報遠隔利用事業	浄水管理事務所	13
下水道GIS システム遠隔利用事業	下水管路課 雨水対策室	14
下水資源の活用！汚泥の肥料化FS 調査	下水施設管理事務所	15

■チーム提案：4事業（1,550千円）

事業名	所属	ページ
二の丸エリア魅力再発掘事業	都市整備課	16
公共政策にナッジを活用！ ～福井市ナッジ・ユニット結成～	総合政策課	17
「人」をつなぐ 関係人口“見える化”プロジェクト	まち未来創造課	18
地域の新時代の幕開け！コミナスプロジェクト	まち未来創造課	19

01 \ポップ／に発信！Oh!役所系YouTuber

チーム提案 個人提案

事業予算：100千円

取組内容

- ・表現が堅くなりがちな行政情報を、流行しているYouTubeの縦型ショート動画（1分以内）を活用し、親しみやすく伝わりやすいポップな動画で発信する
- ・庁内公募で集まった市職員でチームを結成し、職員自ら動画の企画・出演・編集を行う

成果

■成果

- ・ YouTube動画掲載数 **25**本(3月末予定)
- ・ YouTubeチャンネル総再生数 約**21**万回(1月末時点)

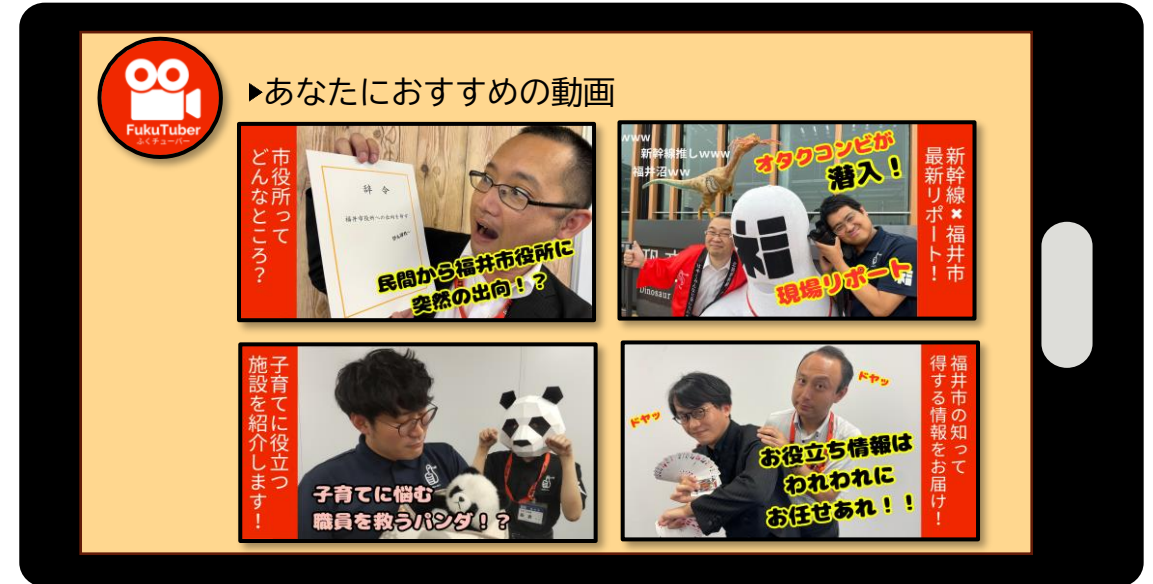
➡多くの市民に市政情報を届けることができた

■工夫した点

- ・ 各チームのテーマを各メンバーの特技を活かして発信した
- ・ 動画の撮り方や、構成についての情報を動画制作ポイントとして共有し、動画制作力の向上に努めた

メンバー

<広報課> 森田、越後、櫻井、姉崎
<総合政策課> 栗本 <スポーツ課> 石丸
<保険年金課> 黒田 <下水管路課> 伊藤
<情報統計課> 野路 <地域交通課> 井上
<市民協働・ボランティア推進課> 西口
<農政企画課> 福田 <市営住宅課> 永井
<子育て支援課> 坂井、板倉



メンバー（担当者）より一言

- ・ 「広報」には終わりが無いので、10年、20年という長期的な視野で取り組む必要があります。チャレンジ事業をきっかけとして、「親しみやすく伝わりやすい広報」というアイディアを実現していくための下地づくりができたと思います。
- ・ ユーモアのある思い切った企画を提案することができたと思います。市の取り組みを知るきっかけとなることを期待します。
- ・ 多くの職員に協力いただき、庁内でのつながりができたことが自分の財産となりました。



パパ育休100%チャレンジ事業

取組内容

■男性育休取得促進への制度構築・仕組みづくりをサポート

モデル企業3社へパパ育休アドバイザーの社会保険労務士を派遣

【サポート内容】

- ・管理職向け研修（育休制度＆対象者への声掛け方法）
- ・対象者への収入シミュレーション・取得タイミングのアドバイス
- ・モデルチームによる課題洗い出し＆改善取組 など

■モデル企業の取組内容を市内企業に発信

課題解決までの取組をメールマガジン・ホームページ等で発信

①永和住宅 株式会社+グループ会社 令和6年：3名取得予定

課題：グループ全社員の対象者把握と育休制度周知

取組：トップメッセージ、全社員向け研修、アンケート実施

成果：取得に関する相談が増加 → 育休取得の申出増に繋がった！

②ジビル調査設計 株式会社 令和5年：会社初の男性育休第1号誕生

課題：対象者の収入減の不安解消

取組：取得時期等のパターンを変えたシミュレーションを重ね不安解消
育休助成金を活用して取得者へ収入補填

成果：男性育休第1号誕生によるロールモデル形成

③ 株式会社 福地 令和5年：1名分割取得

課題：取得者が出ても業務がまわる職場づくり

取組：社内で育休取得が1番困難な部署をモデル部署に採用

モデル部署でスキルアップ勉強会、情報共有ミーティング実施

成果：業務の属人化を解消したスキームを社内全体へ波及

今後もモデル企業の取組の発信等を通じて「男性の育休取得は当たり前！」の企業を増やし、女性活躍につなげていきます！！

<女性活躍促進課> 坪田・大杉・中山

メンバー



メンバー（担当者）より一言

- ・育休は「今しかできない」「お金で買えない時間」！事業をきっかけに2カ月育休取得した男性社員が、「子供が可愛すぎて仕事に戻りたくない！」と言いつつも、「今まで以上に仕事がんばりたい」との話し、充実した時間を過ごせたのだと、嬉しく思いました。
- ・男性育休は、業務の属人化解消や職場風土の改善など企業がより良く変わる大きなきっかけに！
- ・ワークとライフを切り分けず、職場・家族・社会全体で子育てができる温かい空気を広めていきたいです。



03「ありがとう！」で雑がみ分別促進事業

取組内容

- 目的 カレンダーや紙芯などの「雑がみ」について、リサイクル意識を高め、ごみ削減を図る
- 概要 雑がみ分別袋を市内小中学生に配布
- 対象 市内小中学生 約2万1,500人
- 時期 令和5年9月
- 特徴 **ナッジの手法**を利用した分別袋
- ・袋に「分別ありがとう！」と社会的規範を提示し、分別を促す
 - ・分別袋を一定数溜めるとワケルンジャー(※)グッズやワケルンジャー直筆の感謝状がもらえるなど、ゲーム感覚で分別できる

成果

- 福井市環境フェア（令和5年11月）に雑がみを持参した人数：31名
- 分別袋を5回溜めた人数（感謝状応募者数）：14名（令和6年2月1日時点）
- 燃やせるごみ中のリサイクル可能な古紙の割合
R4：24.4% → R5：22.0%（令和5年11月時点）

<環境政策課> 荒川

メンバー

分別
ありがとう

ワケルンジャー

※ワケルンジャー：ごみの分別を教える福井市オリジナルキャラ



分別袋



分別袋贈呈式（日之出小学校）

担当者より一言

- ・福井市ナッジ・ユニットからたくさんのアドバイスをいただき、子ども達が楽しみながら分別を習慣化できるよう工夫しました。
- ・ワケルンジャーの直筆感謝状など、既存のキャラクターを最大限に活用することで、限りなく低コストでインセンティブを設定しました。
- ・子ども達から、「分別が楽しくなりました。」「これからも分別続けます。」などのコメントが寄せられ、担当職員のモチベーション向上にもつながりました。

04 あなたの「困った!!」によりそうWeb広告事業

チーム提案 個人提案

事業予算：1,000千円

取組内容

■ 事業概要

どこに相談すればよいかわからない……そんな福祉に関する相談窓口「福祉総合相談室よりそい」についてWEBサイト上にバナー広告を表示し、支援を必要とする市民に対し、支援ニーズと一致した情報を届け、つながる

広報期間：令和5年6月5日～11月30日まで

■ 取組ポイント

位置情報や検索の履歴、傾向を利用し、生活困窮や福祉に関する相談ごとを抱えた市民を対象としたWEB広告を表示
また、新型コロナウイルスの影響で減収した方向けの自立支援給付金の支給が令和5年3月で終了したため、その後の相談窓口として周知できるよう、令和5年度の早い時期から集中的に広報を実施

成果

■ 取組成果

よりそいのホームページ閲覧数(全体)の広報前との比較結果
最高8.5倍(※) 増加 (※週集計)(※期間平均4.8倍増加)

■ 広報の効果

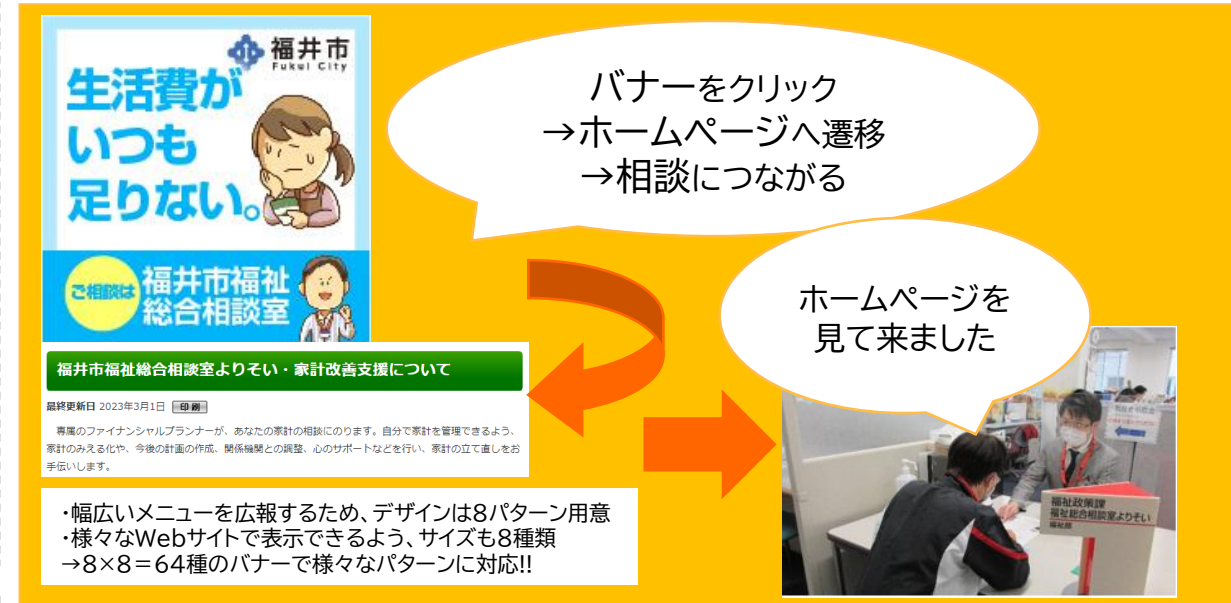
新規相談件数に対してホームページ経由で相談につながった割合
10% → 47%に増加

今回対象者を絞って広報を行うというのではなく、固定観念がない状態で広報を行ったためより多くの人に広告が響いたのではないか。(委託業者所感)

<福祉政策課 福祉総合相談室>

木下、今坂(地域づくりコーディネーター)

メンバー



メンバー（担当者）より一言

- Web広告という未知の領域での取組で、委託業者とのやりとりを通じて広告の現状、利用の仕方についても様々な学びが得られました。ホームページを見て相談に来たという人には従来の相談者層と違った性別・年齢層の方が多く、幅広い市民の方にアプローチできたという点でも、得られるものが多い事業だったと感じます。
- 一方、Web関係で初めて耳にする用語も多く、当初は仕様等を理解するのに苦労することもありました。DXの活用推進が進む中、こうした情報リテラシーの向上についても、折に触れて個々人で意識する必要があると感じました。



05 トキメクふくい！ガイドブック制作事業

チーム提案 個人提案

事業予算：3,000千円

取組内容

北陸新幹線福井開業や北陸デスティネーションキャンペーンの開催にあわせ、若い世代の観光誘客促進や観光消費拡大を目的に、20代から30代の女性をターゲットにした「持っておしゃれ！」「読んで楽しい！」新たなガイドブックを制作

成果

■工夫したこと

- ・ ザ！ガイドブックというような見た目ではなく、一見何かわからないような表紙に！
- ・ 文字情報の詰め込みをせず、あえて写真を多くしたり、**プチ情報を「福井女子のお作法」として盛り込む**など見ていてだけでワクワクするような紙面に！
- ・ 旅行の楽しみの1つである「食」を中心に写真にインパクト持たせ食べたくなるような構成に！
- ・ **詳細情報は福井市ポータルサイト「福いろ」と連携**させることで、最新情報をゲットできる仕組みに！
- ・ 動画を入れることで、紙面だけでない楽しみ方も！

メンバー

<おもてなし観光推進課> 友田、高村
<保険年金課> 大森



メンバー（担当者）より一言

- ・ 限られた紙面の中で、掲載したいものとするべきものの取捨選択が難しかったです。
- ・ 時間も短く、校正等大変なことも多かったが、このチャレンジ予算がなければ、「あったらいいな…」で終わっていたと思うので、今回この予算を活用して制作できたことは良かったです。
- ・ 今後、このガイドブックを手にとった人が福井に来て、その人がさらに福井の魅力を発信し、その輪がどんどん広がっていくことを期待したいです。



06 文化財の魅力を発見 & きっかけはアートから (福井市美術館とのコラボ事業)

事業予算：988千円

取組内容

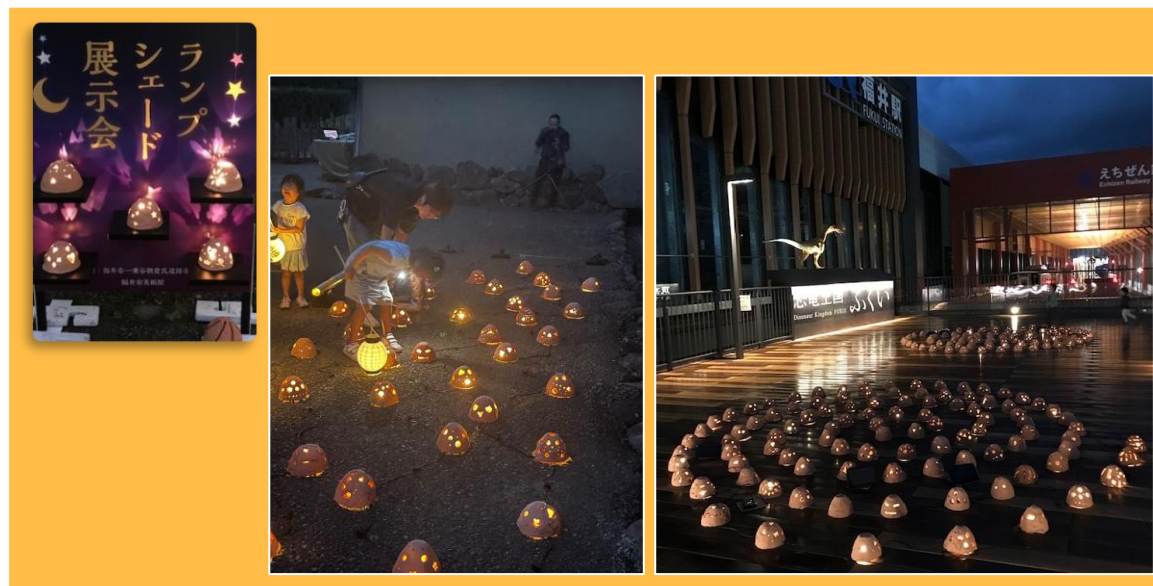
- ・福井市美術館において、主に親子に素焼きの焼き物ランプシェードの造形活動を体験してもらい、制作した作品を一乗谷朝倉氏遺跡復原町並、市観光交流センター、養浩館庭園で展示
- ・展示会名を「朝倉ランプシェード展」として各会場の様子をInstagramにアップすることで、事業内容を即時的に情報発信すると同時に、一般市民の方が「#朝倉ランプシェード展」でInstagram内を検索することで情報共有をしやすくした

成果

- ・福井市美術館とコラボ事業を行うことで、子どもを含む一般市民の方に造形活動という文化に触れていただき、今まで朝倉氏遺跡を訪れたことがなく、興味がなかった層を朝倉氏遺跡に呼び込むことに成功
- ・朝倉氏遺跡を含む文化施設に自分の作品が飾られることで朝倉氏遺跡自体に親しみを感じ、文化施設そのものに足を運ぶきっかけづくりを行うことができた

メンバー

<一乗谷朝倉氏遺跡事務所> 加藤



担当者より一言

大変だったこと

一乗谷朝倉氏遺跡復原町並での夜間ライトアップイベントが初めてのため、順路をLEDライトや行灯で照らすなどして入場者の安全の確保することに特に気を付けました。当日は朝倉氏の家紋入りの提灯を貸し出すなどして極力足元が明るいように工夫しました。

良かったこと

当日展示会をご覧になった方に「素敵だった」「また来たい」と言ってもらえたことです。

取組内容

- 目的：博物館DXの推進
「見に行く」場所から「つながる」場所へ
→豊富な資料や専門知識を
オンラインサービスとして提供
- 取組：インターネット環境の整備
→オンライン講座などが実施可能！

成果

- インターネット環境を整備（令和5年10月完了）
 - ・ 外部とのオンライン通信が可能に
 - ・ 無料無線LAN（Wi-Fi）で来館者の利便性がUP↑
- オンラインサービスに対応するため、
PC等の必要備品を整備（年度内に整備完了予定）
今後、学校とのオンライン授業の実施を検討
（1人1台の児童生徒用タブレットを活用）

メンバー

<自然史博物館> 坂森（提案）、全職員

常設展示室



ビジターセンター



博物館内に無料無線LANを新たに整備

担当者より一言

- 最終的には、家や学校、カフェなど、様々な場所や場面で博物館がシェアされるようになることを目指しています。
- 「DX」には終わりがないので、10年、20年という長期的な視野で取り組む必要があります。チャレンジ事業をきっかけとして、「博物館のシェアリング」というアイデアを実現していくための下地づくりができたと思います。

08 左内先生のレガシー継承プロジェクト

取組内容

- 橋本左内生誕190年記念特別展のための資料修理
 - ・ 約170年前の左内宛て手紙94通分の修理資金をクラウドファンディングで募集・修理実施
 - 修理後は令和6年夏の特別展で展示
- 橋本左内の業績を紹介する普及啓発活動
 - ・ メディアミックス広報（チラシ・SNS・ロコミ）
 - ・ 都内出版社・県人会・歴史学会で宣伝
 - ・ 各種メディアに情報提供、公民館等で講演
 - ・ 市内中学校の立志式事前学習を支援（出前授業）

成果

- 取組成果
 - 寄付金額 **9,257,011円**（達成率 **108%**）
 - 支援人数 **449人**（うち市外 **255人**）
 - ・ 目標を上回った寄付金で資料2件を新たに修理
 - ・ 出前授業で活用できる左内手紙の複製を製作
- 波及効果
 - ・ 全国ネット含むメディア9件で紹介
 - ・ 市内3中学校で出前授業実施（R6度も継続予定）

メンバー

< 郷土歴史博物館 > 藤原、山田、大谷



メンバー（担当者）より一言

- ・ 目標額を上回る寄付金が集まったことで、当初の予定より多くの資料を修理することができました。次の世代へ左内ゆかりの手紙を守り伝えるご厚志をお寄せいただき、心から感謝申し上げます。
- ・ 橋本左内についてあまり知る機会のない県外の方々にも左内の業績を理解してもらえるように、広報の戦略や宣伝の方法を練り上げるのはとても大変でした。



09 福いいネ！知識の源「読書筆記」の巻！

チーム提案

個人提案

事業予算：761千円

取組内容

■図書館利用者が、自らの読書の履歴を記録し、振り返ることができる冊子「読書筆記」を作成

【「読書筆記」とは】幕末に活躍した福井の偉人である橋本左内が、自らが読んだ書物を記録していたことに由来

《取組の特徴》

- ・本のタイトルや著者などの基本情報のほか、心に残った内容など、自分なりの記録ができるようになっている
- ・心に残った一冊に関するコメントを図書館に提出してもらい、採用されると図書館内で本を紹介するポップとして掲示
- ・冊子の最後まで（100冊分）書き終えた方には、記念品を進呈

成果

■取組実績（令和5年9月～6年1月）

- ・「読書筆記」配付数 1,293冊
- ・図書館内のポップ採用 1名
- ・100冊達成記念品（クリアファイル）進呈 3名

《利用者からの声》

- ・子どもが書くのを楽しみにして本をたくさん読んでいます。面白かった本を親子で一緒に振り返ることができるのが良い。
- ・「筆記」という名前のおり、手書きなのが趣があって良い。本の記憶も残りやすい。

《提案者》

北村（図書館） 舟澤（桜木図書館）

《取組》

司書全員

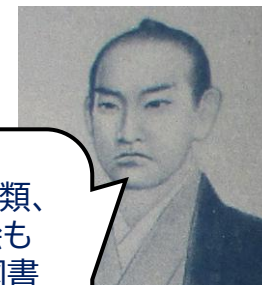
メンバー



〈美人画版〉

〈動物画版〉

冊子は2種類、どちらの絵も福井市立図書館所蔵の資料を使っておる。好きな方を選んで始めよう。



メンバー（担当者）より一言

- ・中間の50冊目に達した方は、図書館で「福いいネ！」スタンプを押し、達成感や新たな読書意欲につながるように工夫しています。
- ・図書館では、プライバシーの観点から、個人の読書の記録は残していないので、この冊子を読書の振り返りにぜひ活用してほしいと思います。
- ・継続して本の記録をつけることで、後になって、子どもの成長や自らの変化などを感じてもらえるのではないかと思います。
- ・字が書けない小さな子には、貸出時に発行しているレシートを貼るなどの活用を声掛けしています。

10 上下水道すごろく

取組内容

■ 事業概要

- 水道水が各家庭に届く道のりや、下水が処理されるまでの道のりを、すごろくでマップ化
- 遊びながら上下水道の仕組みを学んでもらうとともに、上下水道へ関心を持つきっかけとする

■ 工夫した点

九頭竜浄水場や日野川浄化センターをモチーフにすることで、福井市ならではの上下水道事業をPR

■ 取組み成果

主に小学校4～6年生の児童を対象に配布

- 上下水道展で75部配布
会場にすごろくで遊ぶコーナーを設置
- 市内の小学校及び児童館に計980部配布
- 一部上下水関連施設、窓口にて配布

⇒ 児童とその保護者の上下水道イメージアップにつなげることができた

<上下水道サービス課> 田畔、笠島

成果

メンバー



メンバー（担当者）より一言

- 初めは主に小学校4～6年生の子ども達に上下水道についてPRしたい、という思いで作成した上下水道すごろくでしたが、一緒に遊んだ大人の方からも「面白かった」「勉強になった、上下水道の施設にも見学に行った」というお声を頂けたことに一番達成感を感じました。
- 想像以上に子供たちが盛り上がり遊んでいて、すごろくのポテンシャルに驚きました。日頃使っている水のことを、少しでも意識してもらうきっかけづくりができたことを、嬉しく思います。



11 持って出て効率化 情報遠隔利用事業

取組内容

- ・作業現場で配水池水位や配水流量等の作業に必要な情報を迅速かつ正確な確認が可能
- ・これまではリアルタイムの情報を確認するため事務所と連絡しながらの作業だったが、現場で確認可能とすることで作業の効率化や時間短縮を実現

成果

■取り組み成果

- ・浄水池・配水池等の清掃 29件中14件持ち出して利用
- ・相談対応に4件利用
塩素臭や濁りの相談において、残留塩素濃度や濁度の過去の値やグラフによる経時的な変化を視覚的に説明することで、通常運用の範囲内とすることを納得いただけた

→想定していた浄水池や配水池等の清掃に加えて
現地の相談対応でも活用

メンバー

<浄水管理事務所> 島田



担当者より一言

- ・ネットワークの構築やそのための契約という普段の業務とは異なる内容が多く、戸惑うことがあり大変でした。
- ・今後は防水のタブレット端末を導入する予定。持ち運びやすく水に濡れる環境でも使用可能になるので、更に多くの現場利用を期待したいです。

12 下水道GISシステム遠隔利用事業

取組内容

- 企業局内でしか利用できない下水道GISシステムを、現場で利用できる環境を整える

Point①：下水道管路の陥没や閉塞などの緊急対応業務時に**早期の原因特定や復旧**が可能

Point②：休日や夜間の対応でも、現場へ直行できるため、**職員の負担が軽減**が可能

Point③：災害などにGISが利用できない場合、**バックアップデータ**として利用可能

成果

- 取組み成果 ※令和5年12月末時点

1. 下水道管路の陥没や閉塞などの緊急対応業務

35回（平日）

10回（休日・夜間）

⇒**対応の迅速化や時間外勤務削減**の効果あり

2. 管路の点検や工事に伴う埋設物の立会確認等の通常業務

25回（平日）

⇒**業務効率化**の効果あり

メンバー

<下水管路課・雨水対策室>

伊藤・中出・伊藤・北川・高田・吉村



メンバー（担当者）より一言

- 今までは、休日や夜間の緊急対応業務時に、図面印刷のために企業局に来てから現場に向かうなど、対応に時間を要するという課題がありました。今回の事業によって、現場へ直行し、早期に対応ができるなど、大幅に改善することができました。
- 今後も、チャレンジ予算として、チームで意見を出し合いながら、積極的に業務改善に取り組んでいきます。



13 下水資源の活用！汚泥の肥料化FS調査

取組内容

■下水汚泥の肥料化施設について導入検討（可能性調査）を実施

■調査結果

【調査① 汚泥成分の分析】

⇒分析の結果、有効性・安全性共に問題なし。

【調査② ニーズ調査】

⇒ヒアリングやアンケートの集計結果を基に、市内の下水汚泥肥料の需要量を予測したところ、需要量は約550t/年となり、生産予定量（約110t/年）を上回った。

【調査③ 導入方式調査】

⇒費用対効果の検証も含めた導入方式の比較検討を行ったところ、下水汚泥の「乾燥肥料化施設」を民間活力を取り入れつつ導入することが最も適当という結果になった。

■本事業の成果を基に、肥料化施設の導入について、企業局としての方針を検討する。

成果

メンバー

<下水施設課下水施設管理事務所> 酒井
<下水施設課> 上田



メンバー（担当者）より一言

- ・今回、農家の方々に実際にお話を聞きながら調査を行うことで、肥料化施設導入の必要性をより強く実感することができました。得られた調査結果を、今後に生かしていきたいです。
- ・通常業務では経験できない、自分が興味のある分野について、自分達で考え、調査を進めていくことが出来たことに対してやりがいを感じることができました。



取組内容

- 🌱 地元小学校の児童へイベント参加を依頼
- 🌱 定期開催イベントと同時開催、SNS等を利用し告知
- 🌱 松平試農場の紹介動画をイベントで放映
- 🌱 お堀内に色鮮やかな水上イルミネーション設置

成果

- 🍎 順化小学校の児童を対象に、松平試農場の歴史について学習し、試農場になぞらえて「チャレンジしたいこと」を光球に描くことで、**地域歴史の理解度アップ**➡
- 🍎 城址の非日常的な風景に、足を止め写真撮影する歩行者が増加し、**夜間滞留人口アップ**➡
- 🍎 SNSや新聞にイベント開催の記事が掲載され、福井城址の魅力を発信し、**ニノ丸エリアの認知度アップ**➡
- 🍎 イベントの協賛地元企業からは継続的な開催を検討する前向きな意見や、通行人からも期待の声があった
ニノ丸エリアの好感度アップ➡

メンバー

<福井県後期高齢者医療広域連合> 高橋
<都市整備課> 笹口、服部
<保険年金課> 大森、野村

With ニノ丸カフェ実行メンバー



メンバー（担当者）より一言

- 限られた予算内で最大限の効果を発揮するため、光球の選定や業者選定が難しかったです。
- 松平試農場は福井藩の管理ではなく、松平家の管理下にあるため、大手にある越前松平家に説明に伺ったところ、現当主である松平宗紀様も快く承諾をいただけたことが大変嬉しかったです。
- イルミネーションの設置当日に、現場状況が厳しく、当初計画を色々変更する必要が生じたが、メンバーの協力もあり、クリアすることができ、協力することの大切さを感じました。

取組内容

■ 3つのことに取り組みました！

①情報発信



②相談支援



③人材育成



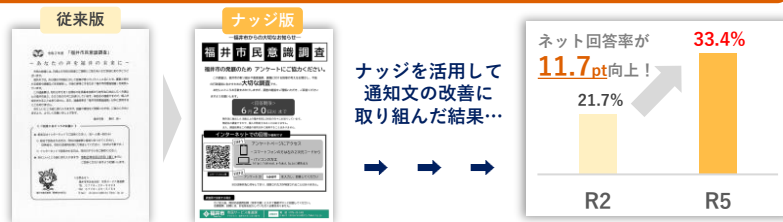
成果

■取組成果

- ①情報発信(ナッジ通信の発行) → 毎月発行
- ②相談支援(相談所属の伴走支援) → 11件
- ③人材育成(ナッジに関わった職員) → 100人超 (研修受講者数および相談支援者数)

■主な相談支援の効果

市民意識調査の回答率向上ナッジ(市民サービス推進課)



<ナッジ・ユニット活動メンバー>



メンバー（担当者）より一言

- 年齢の近い職員と一緒にプロジェクトに取り組む中で、「自分たちで考え行動する」という主体性をもって仕事に取り組んでいるという感覚が芽生え、入庁して初めて仕事が楽しいと感じました（笑）
- 通常業務と並行しての活動であったため、繁忙期には活動に参加できないこともありましたが、他のメンバーがカバーしてくれたりお互いが補い合ったりする中で、チームの相乗効果を発揮することができました！



取組内容

■目的



- ・これまで各課が実施した様々な事業により、多くの関係人口が創出されてきたが、事業終了後はその関係性は希薄化する
- ・そこで、それぞれの関係性に縦串をさすように人同士の新たなつながりを形成し、つながりを通じた様々なアイデア創出を目的として、「ふくい」で繋がるコミュニティを形成する

■取組成果

①オンラインコミュニティメンバー数 (Slack) **90**名

コミュニティ活性化に向けて定期的な投稿を実施
(おおよその内訳 市内在住：市外在住 = **5 : 5**)

②対面イベント **2**回開催

第1回福井開催：8/20 参加者数 **43**名

第2回東京開催：2/12 参加者数 **30**名 (予定)

③オンラインイベント **5**回開催

トークセッション & 参加者交流会(合計**72**名参加)

<教育総務課> 服部

<まち未来創造課> 八木

<2025年日本国際博覧会協会> 増永

<都市整備課> 前田

<資産税課> 熊井

成果

メンバー



メンバー（担当者）より一言

- ・参加者の方々のコミュニティの輪が少しずつ広がり、学びの場・きっかけの場を提供できていると実感した際にやりがいを感じました。
一方で、関係人口の方々は各事業で当時繋がっていた人と紐づいている部分が多く、「ふくい」という共通のキーワードはあるものの、オンラインだけでは新たな関係性の構築を図ることは簡単ではないと思いました。

- ・メンバー全員、対面イベントを一から企画するのが初めてであったため、イベントの段取りや会場準備の中で苦勞する部分があったが、現所属では経験できない学びにつながり、ノウハウを身につけました。



17 地域の新時代幕開け！コミナスプロジェクト

チーム提案 個人提案
事業予算：500千円

取組内容

コミナス説明会&勉強会

コミナスに関心のある学生と地区住民を対象に開催。県外から18名の学生が参加。

インターン生&受入地区の募集

説明会&勉強会に参加した4名の学生が応募。2地区が受入希望。

インターン生&受入地区の審査会

2地区で3名の学生を受け入れ決定。

3週間の地域内インターン

円山地区で1名、殿下地区で2名のインターン生が地域内インターンを実施。

報告会&ワークショップ

インターン生の活動報告会&地域住民とこれからのまちづくりを考えるワークショップを開催。

■地域住民の意識の変化

「コミュニティナース」という言葉に最初ピンと来ていなかったが、地域の中にあるいろいろなことを「繋げていく人」であるということが分かった。自分たちの地区では、それぞれやっていることがあるが、それを繋げる人がいないと感じる。今後の地域づくりを考える中で、そういう存在が重要になってくると思う。

自分たちも地域の方と関わる中で、「変化」「非日常」を楽しむ気持ち、「新しいもの」「多様性」を受け入れる気持ちの大事さを感じた。

■部局をまたいだ連携

事業の実施にあたっては、福祉の側面から地域のまちづくり支援を行う「福祉政策課 福祉総合相談室」とも連携を図った。また、事業後もそれぞれの課の活動について情報共有を行うなど、部局を横断したネットワーク強化につながった。

<まち未来創造課> 八木、黒田、高橋
<広報課> 姉崎、<DX推進室> 佐藤

メンバー

殿下地区、越前地区に
インターン生がやってきます！

福井市のプロジェクトの一環で、大学生2人が、
殿下地区、越前地区で皆さんと一緒に地域活動に参加します。
※福井市のプロジェクト(福井市コミナスプロジェクト)の概要は、右のQRコードよりご覧頂けます。

滞在先 武岡町の「タカシ」さんのお宅

期間
8/23
9/12

インターン生紹介

名前 月岡 美咲

プロフィール

年齢 23歳
出身地 越前市
趣味 旅行、料理
好きな食べ物 お肉、果物

ひとこと
皆さんと仲良くなりた
いので、たくさんお話し
したいです！よろし
くお願いします！

名前 宮本 はるか

プロフィール

年齢 23歳
出身地 愛知県
趣味 写真撮影、ゲーム
好きな食べ物 鶏肉、イタリアン

ひとこと
3週間、皆さんと楽し
い時間を過ごしてい
たいです！よろしくお願
いします！

問合せ 福井市まち未来創造課 TEL 20-5230

円山に
インターン
生が
やって
きます

期間
8月18日
9月7日

インターン生プロフィール

出身地 愛知県

性格 好奇心旺盛

趣味 ボードゲーム、ダンス

好きな食べ物 寿司、スイカ

ひとこと
多くの方とお話しして、
新しいつながりをつくれ
たいと思います。よろし
くお願いします！

※福井市のプロジェクト(福井市コミナスプロジェクト)の概要は、
右のQRコードよりご覧頂けます。

問合せ 福井市まち未来創造課 TEL 20-5230



メンバー（担当者）より一言

- 他課の職員と共に事業を進めるなかで、各課の強みを生かした連携ができました。
- この事業を通して、課を横断して課題に取り組むことの大切さを実感しました。
- 県外のインターン生が引き続き受入地区に顔を出したり、県内でコミナス活動を行うなど、関係人口創出にもつながった点も取り組んで良かったと思います。
- 福井市で初の取り組みに関係する皆さんと協働で事業を進めることができたことにやりがいを感じました。
- 多様な視点からまちづくりを捉えなおす貴重な機会となりました。